

自己評価の視点	気付いたこと・課題
I 保育理念	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念については、職員間で十分に共通理解できており、一人ひとりの子どもを尊重した保育の実践ができている。 ・地域への保育理念等の周知については、まだまだと感じている。今後は園の取り組みを通して地域へ発信していきたい。 <p>子育て支援事業として、こども園3園が連携してコロナ終息後は取り組んでいく。</p>
II 子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に充実した自己評価が得られた。日々の子どもとのかかわりの中において、職員それぞれが、子ども一人ひとりを尊重した保育ができていると実感しているからこそだと考えられる。 ・子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できる環境、主体的に身近な自然や社会とかかわれる環境の整備はもっと向上の余地があると感じている。今後、職員会議において検討課題として取り組んでいきたい。 ・昨年に引き続き、コロナ禍では地域の子育て支援が難しく、現時点での課題として受け止めたい。
III 保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板を活用し子育てに関する情報を周知したり、関係機関と連携したり、必要に応じ対応を行っている ・地域の子育てニーズを把握する取り組みの実践が十分でないと感じている。園が所有する環境を有効活用し、地域の子育て世帯との距離を縮め、地域の子育て世帯への対応を検討していきたい。
IV 保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・この項目については、おおむね良好な評価が得られた。災害への対策、職員の福利厚生や健康維持の取り組みなどが、特に職員の評価は高いものであった。 ・質の向上として、自己評価を行っているが、園の改善点等をもっと職員間で話し合っていく必要性を感じている。また、その中において、職員にとって働きやすい環境の構築も今後の重要課題と認識している。